

## 京都府流域下水道事業経営審議会第3回財政部会（開催結果）

1 日 時 令和3年1月21日（木） 午前10時～11時

2 場 所 ZoomによるWeb会議

3 出席者 委員 西垣部会長、佐藤委員、三宮委員、藤木委員  
(5名中4名出席) ※吉川委員が欠席

京都府 中島建設交通部副部長、市田建設交通部技監  
安田水環境対策課長、藤原水環境対策課参事 他

### 4 結果概要

- 京都府から以下の議題について説明し、審議。
  - (1) 第2回経営審議会以降の修正とパブリックコメントへの対応について
  - (2) 今後のスケジュールについて
- 上記の議題については、概ね了承され、審議の中でいただいた意見については、第3回経営審議会に諮る経営戦略最終案に反映していく。

### 5 主な意見

(西垣部会長)

- ・ アセットマネジメントは、今後の府民の方々の理解を高める上で、大変大事な概念である。京都府が運営しているものは京都府民の資産であり、その資産を毀損させることなく、維持管理していくという観点を、利用者にご理解していただいた上で、今後の負担を求めていくことが重要。
- ・ 下水道は、技術的な側面が強く、利用者にとってハードルが高いと思うが、府民の方々へも経営戦略に盛り込まれる政策の理解やそれに応じた負担を理解いただけるように取り組むべき。

(佐藤委員)

- ・ 今後は、市町負担金の協議が非常に重要になってくるので、段階的に綿密に市町との調整をしっかりと進めて欲しい。市町との協議は、市町負担金をめぐる利害の調整の場という側面と、このような協議を通じて、市町の皆さんの知識や教育育成にもつながるという側面がある。こういった観点から、市町と連携・協議することは、全体として下水道のサービス水準を強化することになると思うので、そういった観点からしっかりと進めて欲しい。

(三宮委員)

- ・ (パブリックコメントで質問のあった) 「表2.9 民間事業者等の活用状況」について

て、電力の調達に包括的民間委託等に含まれている浄化センターと含まれていない浄化センターがあり、洛南については、電力調達は包括委託に含まれているということであった。業務概要中、「物品調達業務等」の中に電力が含まれていると理解しているが、他の浄化センターは「電力調達は除く」と書いてあるのに対して、ここだけ電力のことが言及されていないので、「電力調達」と書けばわかりやすいと思う。

(藤木委員)

- 本文にSDGsと京都府の流域下水道事業との関連づけがされており、近年SDGsが社会的に浸透してきたので、流域下水道の目的がよりわかりやすくなっている。また、京都府は北の方が海のイメージがあるが、大阪湾という広域的な海域の水質保全のことも考えて下水道事業をやっていることを示すために、SDGsの14番の海の豊かさも入れてはどうか。
- 広報について、きちんと書かれたのは良いと思う。
- 第5章の参考の「ストックマネジメントからアセットマネジメント」の中に、「アセットマネジメントの取組自体も、それを実現するためのオープンデータ化の仕組みも含めて、発展途上の段階ではありますが、研究していきます」という文章が入っている。それが、広報ともリンクしていることを書けないか。広報のためにもオープンデータ化について研究し、情報開示に取り組んでいく、等のことを書けば、もう少しリンクがはっきりする。アセットマネジメントは、単に効率的にマネジメントするだけのものではなく、きちんとステイクホルダーや住民の理解を得て、その理解の上で事業を行うのが大きな目的であり、参考の「アセットマネジメントの時代」にリンクさせた表現を工夫する方が良い。
- 市町の公共下水道もそれぞれ色々な悩みを抱えている。また、公共下水道と流域下水道は繋がっているので、今後、雨天時浸入水等、市町と京都府で一緒に解決しなければならない問題が出てくる。したがって、そういう課題に対して府と市町が一緒に解決していきましょうという姿勢で是非のぞんで欲しい。

以上